

第1回 高知県1漁協の将来像を考える委員会 議事概要

- 日 時 平成29年8月24日(木) 15時～16時30分
- 場 所 高知共済会館「四万十」
- 欠席委員 志磨村委員
- 議 題 ① 委員会の設置趣旨等について ② 会長及び副会長の選任
③ 漁協合併をめぐる経過 ④ 本県漁協の現状と課題

■ 議事概要

- ◇ 議題 ①：特になし
- ◇ 議題 ②：安岡委員を会長に、澳本委員を副会長に選任
- ◇ 議題 ③、④：各委員の意見は以下のとおり

<弘田委員>

- ・市場施設が古くなっており、再整備は大変だろうと実感
- ・地域住民からは、港ごとに所管先が異なっており、整備の時などに不便を感じるとの声
- ・芸東には大変な地域も多いが、スケールメリット等を考えると、やはり合併が必要

<西内委員>

- ・漁業者が減少しており、このなかで如何に漁業生産を維持していくかが課題
- ・繰越欠損金を抱える漁協への対応をどのようにしていくかが一番のポイント（事業外で利益を出している漁協も含め、財務基盤の強化が必要）
- ・県1漁協のメリットを示すことができれば、合併に向けて前向きになるのではないかと

<泥谷委員>

- ・さんごの漁獲高が魚の漁獲高を上回っていることに危機感
- ・土佐清水市には窪津漁協があるが、独自のスタイルで経営を継続
- ・どのような方向性があるのか、皆さんと一緒に考えていきたい

<木下委員>

- ・昔は年配の人が合併に反対していたが、今はいない
- ・これからは、合併も考える必要があると思っている
- ・ただ、借入ができる間は頑張っていきたい

<崎山委員>

- ・H20の久礼漁協総会時では、過半数が合併に賛成
- ・漁業を営んでいない正組合員が多数おり、合併にあたってはそういったことも問題になる
- ・10年、15年経てば、組合員が大きく減少し、衰退していくことが目に見えている
- ・ただ、最近は黒字経営が続いており、カツオの船主などは「合併する必要はない」との感覚
- ・久礼漁協役員会で、こういった（合併に関する）勉強会をしてもいいかと思う

<浦尻委員>

- ・宿毛湾域にも多くの赤字漁協があったことから、7漁協構想のもと、すくも湾漁協が誕生

- ・組合長を16年やってきたが、この間は様々な面で苦慮
- ・7つあった市場を1つに集約し、ロットが揃うようになり、単価も向上
- ・これまでは困難であったが、今は組合員のニーズに応える方向に向いている
- ・さんごの問題も含めて、今後また厳しい状況が来ると思うので、5年、10年先を見据えた漁協の在り方を考えることが必要

< 澳本副会長 >

- ・合併してからは、赤字があったので、非常に苦しい思いをしてきた
- ・組合員、役職員に負担をかけて何とか黒字化
- ・合併ありきで話を進めるとおかしな話が出てくるので、どのようにして漁業者を次の世代に残していくかという視点から考えることが必要
- ・漁業者のなり手も減ってきているし、漁協職員のなり手も減少
- ・買受人が高齢化している中では市場の集約化も重要
- ・漁業者を生き残らせるために組織をどう変えるか、そういう視点からの議論が必要

< 安岡会長 >

- ・担当課長時代にすくも湾漁協から「合併は時期尚早」との意見を頂いたことを記憶
- ・数字だけでなく、県1漁協の特徴（メリット）も知りたい
- ・県1漁協化している都道府県もあると思うので、そういったところの良い面や悪い面も検討材料にできれば